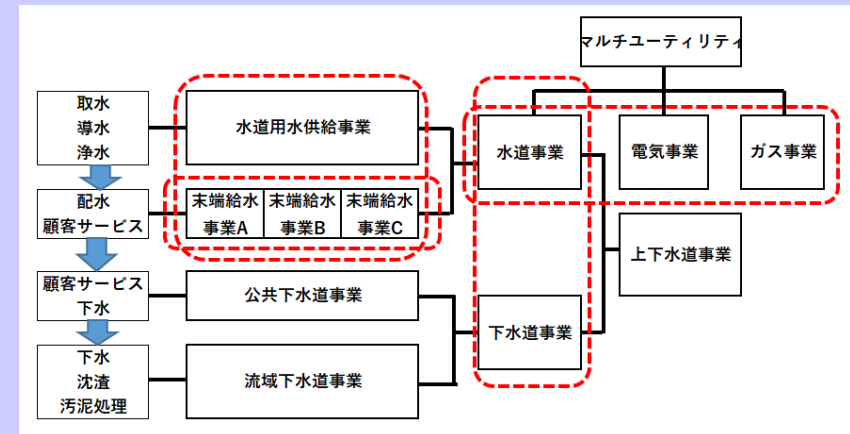


人口減少社会における上水道・下水道事業経営の 持続可能性に関する研究

(教授・浦上拓也, urakami@bus.kindai.ac.jp)

Research Area

1. 最適産業規模に関する研究
2. 官民連携(PPP)の有効性に関する研究
3. 支払い意思額に関する研究
4. 生産性・効率性およびベンチマークに関する研究



Recent Activities

- Urakami, T. and D. Parker (2011) "The effects of consolidation amongst Japanese water utilities: A hedonic cost function analysis," *Urban Studies*, Vol.48, No.13, pp.2807-2827.
- 中山徳良・浦上拓也(2017)「階層型DEAを用いた水道事業のベンチマーキング」『公益事業研究』第68巻第2号、13-20頁。